

麦類の出穂期が早まっているので凍霜害に気をつけましょう！

令和3年4月2日
下都賀農業振興事務所

1 麦類の生育概況

表 出穂期の累年データ

	出穂期	出穂期 平年比
R03年	4月3～4日	-5～6日
R02年	4月6日	-3日
R01年	4月11日	+2日
H30年	4月10日	+1日
H29年	4月10日	+1日

平年値 4月9日（H29～R02年の4カ年平均）として算出

R03年出穂期は見込み

2 凍霜害に対する技術対策

- (1) 凍害を受けた幼穂や小穂部分では赤かび病の発生リスクが高まるため、赤かび病の防除を徹底しましょう。穂揃い期 1 週間～10 日後に薬剤防除を行います。
また、葉が凍死するほどの被害を受けたほ場では、葉上の菌密度を低下させるために直ちに防除を行いましょう。
不稔粒の発生が多いほ場や登熟期に降雨が続く等、多発のおそれがある場合は、1 回目散布の 7～10 日後を目安に 2 回目の散布を行いましょう。
- (2) 幼穂の凍害により、遅れ穂の発生が想定されます。
このため軟弱な生育となり、うどんこ病やアブラムシの発生が懸念されます。ほ場で発生を確認したら直ちに防除を行いましょう。
- (3) 排水溝点検を実施しましょう。大雨に備え、明渠の排水口が目詰まりしていないかを点検し、降雨時等に速やかに排水できるようにしましょう。